

令和6年度第2回小学校教科担任制推進協議会 実践交流資料

1 学校名・教科型

廿日市市立宮内小学校 4教科型

2 学校の概要

学級数及び児童数(R6.12.1現在)

	通常学級							特支 学級	合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計		
児童数	86	77	84	88	87	83	505	24	529
学級数	3	3	3	3	3	3	18	4	22

3 教科担任制推進教員を配置した授業計画

教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	道徳	総合	学活	外国語
週当たり標準授業時数	4	1	2.9	5	3	1.4	1.4	1.7	2.6	1	2	1	2
5年1組 (担任：A)	C	専科	A	B	推進	専科	A	A	A	A	A	A	A
5年2組 (担任：B)	C	専科	A	B	推進	専科	A	B	B	B	B	B	B
5年3組 (担任：C)	C	専科	A	B	推進	専科	A	C	C	C	C	C	C

教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	道徳	総合	学活	外国語
週当たり標準授業時数	4	1	3	5	3	1.4	1.4	1.6	2.6	1	2	1	2
6年1組 (担任：D)	D	専科	F	E	推進	専科	F	D	D	D	D	D	D
6年2組 (担任：E)	D	専科	F	E	推進	専科	F	E	E	E	E	E	E
6年3組 (担任：F)	D	専科	F	E	推進	専科	F	F	F	F	F	F	F

教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	体育	道徳	総合	学活	外国語 活動
週当たり標準授業時数	6	1	2	5	3	1.7	1.7	3	1	2	1	1
4年2組 (担任：G)	G	専科	G	G	推進	専科	G	G	G	G	G	G

4 成果と課題

(①授業の質の向上、②多面的な児童理解、③小・中学校の円滑な接続、④教師の負担軽減、⑤その他)

<効果のあった取組>

②多面的な児童理解

空き時間を利用して、複数でクラスを指導する。



④教師の負担軽減

学年内で、交換授業をする。

<成果>

②多面的な児童理解

複数の教員で児童を見ることで、児童の特性の多面的な理解につながった。

必要に応じて複数での指導ができた。学年団で情報交換（共有）するときに、学年団の教員全員が児童とかかわっているのので、具体的な話がしやすく、よりたくさんの情報を共有するとともに、共通理解が進んだ。



④教師の負担軽減

担当する教科が減るので、教材研究や授業準備に余裕がもてた。複数クラスで同じ内容の授業をすることで、授業改善を生かすことができた。

<課題>

① 予定変更や時数調整の際の時間割変更が難しい。

<対策>

① 年度当初に、余裕をもった年間時数の確保をしておく。曜日による差に配慮する。担当教諭が不在でも授業が進むように自習の内容を用意する。